

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、個人情報の加工を行う前までに参加拒否の申し出があった場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	悪性胸膜中皮腫の予後と MTAP, BAP1 とその周辺遺伝子の欠損との関係に関する研究 [倫理審査受付番号：第 4456 号]
研究責任者氏名	長谷川誠紀
研究機関長名	兵庫医科大学 学長 鈴木敬一郎
研究期間	2023 年 7 月 20 日 ~ 2025 年 5 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。 兵庫医科大学呼吸器外科で上皮型悪性胸膜中皮腫に対し根治術（胸膜切除/肺剥皮術もしくは胸膜肺全摘術）を受けられた方。 疾患名： 悪性胸膜中皮腫 / 診療科名等： 呼吸器外科 手術日：西暦 2018 年 1 月 1 日～ 2021 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 / カルテ情報（過去の診療録より取得） アンケート その他（ ）
研究目的・意義	悪性胸膜中皮腫の予後予測は難しいとされています。本研究では手術時の標本を用いた病理組織検査に記載される免疫組織染色の結果と予後の関連につき検討することで予後を予測できる可能性が生じます。
研究の方法	2018 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日に、当科で上皮型悪性胸膜中皮腫に対し根治術を行った患者様の一般的なデータ（年齢、性別、組織型、手術術式）と病理組織診断報告書より免疫染色の結果（MTAP, BAP1, p16 などの発現の有無）を収集し、統計解析して予後などとの関係を調べることにより予後を予測できる可能性を探求します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：呼吸器外科 担当者氏名：近藤展行 [電話]（平日 9～16 時）0798 - 45 - 6885

